

マスクした顔が卒業アルバムに収められむと思へば
かなしき 本田一弘

これを書いている今、そろそろ卒業アルバム用の集合
写真を撮る季節である。今春の卒業生は、全員マスクで
集合写真を撮るのだろうか。まさか、と思う。集合写真
は工夫してマスクなしで撮るのだろうか、マスクの写真
も多く掲載されることになるのだろうか。教員ならではの
視点に注目する。

コロナ禍をきらきらどどん囁くさき笑顔の家族の
広告増える 岸並千珠子

コロナ禍にかこつけて、これまででは囁くさくて通用し
にくかったあれこれが、平気でテレビに登場してくるよ
うになった。「家族」「仲間」「笑顔」……等々。批評を
前面に出して、切れ味のいい一首に仕上げている。

見えてゐても気配はせずに聞こえても熱量あらずZ
OOM飲み会 関沢由紀子

ZOOM飲み会なるものへの違和感をうたっている。
私はもちろんやるつもりもないが、作者とまったく同意
見で、つまらないだろうなと思う。電波では伝わらない
ものに「気配」「熱量」をあげている。まあ人間という
存在がかもしだす「空気」がないから、一緒に酒を飲ん
でも、面白くもなんともないのだと思う。これも批評を
軸して成功。

太つちよの子どもがブリーゲルの絵に豚の膀胱ふ
くらませせおり 曲渕江里子

ブリーゲルの「子供の遊戯」という有名な絵をう

短歌の現在

No.478 今月の15首を読む

佐佐木幸綱

たった一首。この絵は一一八cm×一六一cmの横長の
絵で、そこになんと二四人もの子供が描かれ、子供た
ちは九一種類の遊びを遊んでいるという。ちゃんと調べ
た美術史の論文がある。豚の膀胱は風船にしたり、水遊
びの時の浮き袋にして遊んでいる。一首、絵のデイトイ
ルにこだわった、ユーモアの味がなかなか、いい。

落し物鼻近づけて当てているフレグランスを嗅ぎ分
ける子ら 田中和美

現代の子供社会を表現して、なるほどとうなづく読者
も多いのではないか。「フレグランス」という語をうま
く使っていて感心した。「フレグランス」は香りといつ
た意味だが、ここでは体臭とはちがう香料の匂いの意
味。登場人物は高校生か中学生だろうから、石けんとか
整髪料とかだろう。落とし物についた、彼あるいは彼女
が使っている石けんとか整髪料の匂いを嗅ぎ分けている
のだ。えっ?と感じる私などは、古い世代か。

小さきは肩大き靴は足に挟みペットボトルのふた開
ける人 水口奈津子

駅で特急を待つ人らしい。男だろうと思うが、もしか
したら女性かもしれない。とにかく写真を撮るように、
その姿をていねいに描きだしている。そのていねいさが
ユーモラスである。本人は大真面目で、わずかな待ち時
間にほっと息をついているのだろうか。

水曜は交流サイトにうすく居て鈴のような声を聞
きたり 上原良美

「交流サイト」がどのようなものか分からないが、い